

令和3年10月15日

保護者各位

鳥栖市立基里小学校
校長 原 徹也

令和3年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について（お知らせ）

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されましたので、その調査結果をもとに本校の結果について分析をしました。結果の概要についてお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

1 令和3年度全国学力・学習状況調査について

令和3年5月27日、下記のような内容で全国一斉に小学校6年生を対象として実施されました。調査内容は、次のとおりです。

(1) 教科に関する調査（国語、算数）
※平成31年度(令和元年度)より、新学習指導要領の考え方に則して、主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に調査されています。
(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
※学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関して調査されています。

2 教科に関する調査結果から全国平均正答率と比較して見える本校児童の姿

(1)国語について

- ・本校の国語の全体の平均正答率は全国の平均正答率と比較して、上回っていました。
- ・「知識及び技能」の中の「言葉の特徴や使い方に関する事項」、「思考力、判断力、表現力等」の「書くこと」については、全国の平均正答率を上回っていました。しかし、「思考力、判断力、表現力等」の「話すこと・聞くこと」、「読むこと」については、全国の平均正答率を下回っており課題が見られました。
- ・「目的や意図に応じて理由を明確にしなが、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する問題」については、全国の平均正答率を大きく上回っていました。
- ・「資料を用いた目的を理解する」問題においては、全国の平均を大きく下回っており、課題が見られました。今後も資料を活用するなど、自分の考えが伝わるように表現を工夫する指導を行ってまいります。
- ・「漢字を文の中で正しく使う問題」については上回っており、「主語と述語との関係を捉える問題」については、全国の平均正答率を大きく上回っていました。
- ・「修飾と被修飾の関係を捉える問題」においては、全国の平均正答率を下回っており、課題が見られました。今後も、言葉の特徴や使い方に関する事項について重点的に指導してまいります。

(2)算数について

- ・本校の算数の全体の平均正答率は全国の平均正答率と比較して、上回っていました。
- ・「図形」の領域については、全国の平均正答率を大きく上回り、「測定」の領域については、全国の平均正答率を上回っていました。しかし、「変化と関係」及び「データの活用」の領域については、全国の平均正答率を下回っており課題が見られました。今後も、「変化と関

係」では、速さなど単位量あたりの大きさの意味や表し方について指導を行ってまいります。

- ・「データを二つの観点から分類整理する問題」については、全国の平均正答率が大きく下回っていました。「円グラフと帯グラフの特徴とそれらの用い方を理解する問題」については、全国の平均正答率を下回っていました。今後も目的に応じてデータを集め、観点を決めて分類整理し、データの特徴や傾向を読み取ることについて重点的に指導してまいります。
- ・「三角形の面積を求める問題」及び「条件に合う時刻を求める問題」については全国の平均正答率を大きく上回っていました。
- ・数量や短い言葉で答える問題及び記述式による問題については、本校の平均正答率は全国の平均正答率を上回っていました。一方、選択式による解答については、全国の平均正答率を下回っており、課題が見られました。

3 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果から見える本校児童の姿

(学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査)

- ・基本的な生活習慣「早寝早起き」の項目については本校の回答では「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」の児童の割合が、全国の割合より 8.0 ポイント上回っていました。「朝食」の項目では、2.1 ポイント下回っていました。
- ・家庭学習については、全国と比べて「計画的に学習している児童」の割合は 4.6 ポイント上回っており、「一日当たりの勉強をする児童」の割合は 3.5 ポイント上回っていました。
- ・「家庭に本がある児童」の割合は 14.1 ポイント下回っていました。「一日当たりの読書をする児童」の割合は 1.0 ポイント下回っていました。「新聞に目を通して読んでいる児童」の割合は、全国と比べて 4.6 ポイント下回っていました。今後も、重点的に読書指導等を行ってまいります。
- ・国語科学習への興味・関心は全国と比べて 6.1 ポイント上回っていました。算数科学習への興味・関心は、全国と比べて 8.9 ポイント下回っていました。
- ・ICTを「ほぼ毎日」「週1回以上」活用していると答えた児童の割合は、全国の割合より 9.9 ポイント上回っていました。
- ・下記の規範意識や自己有用感を示す事項については、全国平均を上回っていました。
 - 「学校に行くのは楽しい」
 - 「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人との約束を守っている」
 - 「人の役に立つ人間になりたい」
 - 「自分が思っていることや感じていることを言葉で表すことができる」
 - 「自分とちがう意見について考えるのは楽しい」
 - 「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている」
 - 「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」
 - 「友達と協力するのは楽しい」

4 今後の改善策（児童の力をさらに伸ばすために）

(1) 授業等の工夫・改善を行います。

- ・児童の実態に応じて、基礎的・基本的な学習内容の定着を図っていきます。
- ・自分の考えや意見、分かったことを自分の言葉で表現する活動を、授業を中心に各教科に取り入れていきます。
- ・児童同士の関わりを大切にして、互いを認め合う場面の設定を意識して指導していきます。
- ・授業の中で、児童に考えさせる場面や話し合わせる場面を多く取り入れるように工夫します。

- ・1時間の授業の流れを全校で統一し、めあてとまとめを明確にした授業を行います。
- ・授業のユニバーサルデザイン化のために、学習の流れを示すカードを提示して内容を視覚的に捉えさせます。
- ・電子黒板やデジタル教科書のさらなる有効活用に加え、タブレット等ICT機器の活用を継続し、より分かりやすい授業を目指します。
- ・木曜日の「スキルタイム」で、四則計算などに取り組み、基礎・基本の定着を図ります。

(2)自分で学び続ける習慣を身に付けさせます。

- ・「家庭学習重点週間」を今後も継続することで、家庭学習の習慣を定着させます。
- ・自主学習（自学）ノートを奨励し、点検、添削を行うことで、よりよい家庭学習になるようにします。

- ・家庭でも次のようなことに心がけてください。

1 家庭での学習時間をつくってください。

【学習時間：1・2年生 30分以上 3・4年生 45分以上 5・6年生 1時間以上】

- ◎学習する時間や場所を決めて取り組ませることで学習習慣を身に付けさせましょう。
- ◎テレビを見る時間やゲームをする時間を決め、長時間にならないようにしましょう。
- ◎苦手教科やテスト直し等復習を中心とした自主学習に取り組ませましょう。

2 生活のリズムを整え、お子さんとのコミュニケーションの時間を大切にしてください。

- ◎早めに起床し、必ず「朝食」を摂るように声掛けをしましょう。
- ◎学校での出来事等について、話したり聞いたりするようにしましょう。
- ◎最近読んでいる本の内容、新聞やテレビの話題について話し合しましょう。
- ◎お子さんががんばったことやよくできたことを、積極的にほめましょう。
- ◎親子で読書をする時間をもちましょう。

【本校の目標冊数：1・2年生 130冊 3・4年生 100冊 5・6年 80冊】